

令和4年11月22日

第2回 学校運営協議会 議事録

【構成員】

委員：笹山幸子、千石仮名江、宮坂政宏、草野功一、高松真由美、杉浦朋子（敬称略）
事務局：佐々木博章（教頭）、菊地淳（事務長）、角山愉紀雄（首席）、亀井絵里（首席）
藤井高歩、諸木忠治、佐敷美沙、吉田貴博、小原浩昭、西脇慎治、乙井俊輝（敬称略）
（伊藤義孝（校長））

【出席者】

委員：笹山幸子、千石仮名江、草野功一、高松真由美、杉浦朋子、宮坂政宏
事務局：佐々木博章（教頭）、菊地淳（事務長）、角山愉紀雄（首席）、亀井絵里（首席）
藤井高歩、諸木忠治、佐敷美沙、吉田貴博、小原浩昭、西脇慎治、乙井俊輝、月本彩花（記録）、
巽百花（記録）（敬称略）、（伊藤義孝（校長））、

【欠席者】

日時：令和4年11月19日（土） 9：30～12：10

場所：授業見学（各教室）、校長室（協議）

【内容】

9：30～9：40

第2回学校運営協議会の進行について説明

9：40～10：30

授業見学

2時間目（9：40～10：30） 授業参観日のため、校内自由見学

10：40～12：10

【報告事項】

（1）令和4年度進路状況について（進路指導主事）

19期の現状について説明（指定校推薦や生徒の取組み状況等について説明）

★協議員より質問★

「指定校推薦は毎年決まっているのか」

（回答）固定されているわけではなく、各大学で毎年見直しが行われている。その中で、本校の生徒の取組み等により、各大学に進学状況が浸透し、今年度は新たな指定校がいただけたのではないかと。

（2）令和4年度生徒状況について（生徒指導主事）

遅刻の状況、学校生活における生徒の状況等について説明

★協議員より質問★

「不登校も多くなっているのか？」

(回答) 断続的に休む生徒が出ている。30 日以上の欠席者については増えている現状がある。

(3) 進路希望調査の状況及び遅刻状況についての説明 (校長)

★協議員より質問★

「国公立希望者も増えているが、共通テストの受験者数はどのくらいか。

→ (回答) 申込は 100 名程度で、受験は 50 名程度。

「1, 2 年生で進路を決めている生徒は、具体的な大学も決めているのか」

→ (回答) 具体的に決めているケースは少ない。大きな括りで方向性を決めているのが現状である。

「不登校が増えているということだが、どれくらいいるのか？」

→ (回答) 各学年 10 人位いる。4 月～6 月頃、遅刻しながらも登校している生徒が、文化祭が終わったあたりから不登校になり、転学に至るケースが多い。コロナ禍の中、コミュニケーション不足が大きな要因と考えている。また、起立性調節障害の生徒も多くなってきている。中学校の状況はどうか？

→ (協議員より) コミュニケーション不足は中学校も同じである。友達とのやり取りもメール等が多く会話が上手にできない生徒が増えている。中学に入学前の小学校 5・6 年をコロナ禍で過ごし、コミュニケーションが上手にとれなかったことに起因している可能性がある。起立性調節障害の生徒も非常に多い。中 3 になり進路選択の難しいケースもある。

→ (協議員より) 中学 3 年生では、1・2 年ではクラブ活動はなく、3 年になりいきなり先輩として活動することになっている。全体行事もなく、友人とのやり取りも LINE がほとんどの中、コミュニケーション能力を身につけるには時間が必要で、すぐにできるものではないのが現状ではないか。

(4) 令和 4 年度学校経営計画進捗状況について

現状の取組みについて説明した。学校教育自己診断前ということで、詳細の報告は次回の第 3 回で実施することとした。

(5) 教科書の採択について

令和 5 年度採用の検定教科書について、協議員に紹介。

★協議員より質問★

「各科目で行う探究の中身は、教科書を活用して行っているのか」

→ (回答) なかなか教科書の内容に準じて行うことが困難であるため、各教員が工夫を凝らして実施しているのが現状である。

(6) 学校教育自己診断について

11 月 24 日に今年は GoogleForms を活用して実施することを報告。

【審議事項】

(1) スクールミッションについて

現在作成している内容を提示し、説明

★協議員より★

「非常によくできている。学力や個の力に偏っているものが多いが、芦間では全体を意識している。協働もあり、あと集団における互恵の視点も入るとより良くなるのではないか。」

「文章が長めであるので、少し短く分かりやすいところで切るといい」

学校運営協議員の意見を踏まえながら、互恵と文章を工夫することで了承

(2) 令和5年度学校経営計画中期目標について

現在作成途中である。学校教育自己診断の結果を踏まえ、数値目標を入れながら、次回の第3回学校運営協議会で検討する。

【協議】

授業見学における各協議員の意見

- ・英語の授業を見学したが、和気あいあいとしていてよかった。
- ・数Ⅰが2クラスに分かれた授業を行っており、それぞれ内容も異なっていて習熟度授業が行えている状況がわかる。1年生の現代の国語でも、グループ学習を行っており、主体的に取り組んでいた。授業をしている先生のアドバイスも的確で非常によかった。社会も複数クラスを見学したが、いずれも丁寧に授業を行っているのがわかった。
- ・プリントを忘れた生徒が途中で先生に忘れたことを言ってプリントをもらっていたが、その際に先生が「みんなではないので、忘れた場合には、休み時間にするように」と注意して渡していたのが良かった。ただ渡すのではなく、全員が共有して学ぶ時間が損なわれることまで指導していた。
- ・授業でCDの歌を流して歌詞を聴き取るものもあったが、ヒアリングにより耳を鍛えることを主として行い、生徒も前向きに取り組んでいて良かった。
- ・生徒はあきらめずに挑戦しようとしている場面が多かった。何回間違っても答えようとしている姿が良かった。授業に前向きで、総合学科ならではのところが見られた。
- ・講義的な授業が多い印象を受けた。社会は一方的な説明が多かったように感じる。英語の先生はキャスター張りの授業を行っていた。先生間でも授業の進め方に差があると感じた。生徒と相互のやりとりを上手に行っている場面もあった。
- ・1年生の現代の国語の授業は非常に良いと感じた。生徒の主体的な活動もあり、また先生も上手にまとめていた。黒板を写メで撮影することもOKにしている、効率的な授業でもあった。
- ・プロジェクターを効果的に活用していたが、機器のコードをまたいでいるケースもあり、やや危ないと感じた。
- ・本時の目標が黒板に記載してあるが、活用している先生が少なかった。
- ・コロナ禍で、観点別の授業が導入され、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学ぶ力の三観点について、個への落とし込みと集団での共有といった両方の観点で見学した。集団として学ぶ中で、問題や課題を発見する力や解決する力などを養っていく必要があるが、比較的各先生ができていたと感じた。
- ・18歳成年に関して、責任問題や消費者問題など、どのように行っているのかを見たかったが、該当する授業がなく残念であった

→授業見学を通して、学校より

- ・本時の目標は、教務部長が年度当初に職員会議で授業では必ず示して行うようにと言っている。なかなか浸透していない状況がある。
- ・18歳成年については、3年生では現代社会の中で取扱っている。投票率の年代による差や、政策に係る影響など、どのように反映していくのかを具体的に考える授業を行っている。投票の重要性や投票率を上げるための方策などを考える授業を行っている。
- ・授業をICTのみに頼るのではなく、ノートや各種ツールなどを適切に活用し、効果的な授業を進めていけるようにする。
- ・消費者教育については、新教育課程への移り変わりの時期で、本来は家庭科で行っているのだが、今年度は家庭科の授業がないため、行っていない。旧課程では、家庭科で行っていた。

その他

次回、第3回学校運営協議会の予定について

令和5年1月25日(水) 14:00

リモートも可能であるが、日程変更も考慮しながら、改めて連絡する。